

高齢者の消費者トラブルを防ぐために、 私たちにできることは？

普段から悪質な業者を近づかせない取り組みを！

悪質な業者を近寄らせないために、また高齢者自身が悪質かどうかを見極められるように、ぜひ高齢者と一緒に取り組んでみてください。

●積極的に コミュニケーションをとる

身近な高齢者とコミュニケーションをとることで、変化の样に気づきやすくなります。また高齢者の身近に人がいることで、悪質業者が近づきにくくなります。



●しつこい 業者対策

断っても何度も訪問する業者には、複数で対応しましょう。近くに親しい人がいるということを見せることが大切です。



●悪質な 電話勧誘対策

電話番号非通知の電話は受信を拒否する設定に。また常に留守番電話設定にしておき、必要なときは後で折り返しかける習慣をつくるのも効果的です。あまりにしつこい場合は、代わって電話に対応しましょう。



●知識の普及

悪質商法に関する情報を積極的に高齢者に伝えましょう。回覧板にチラシをはさんだり、地域の高齢者を対象にした消費生活講座などを開催するとよいでしょう。



こんな変化に注意して見守りましょう ～気づきのポイント～

高齢者自身や身の回りに次のような変化が見られたら、消費者トラブルに巻き込まれているおそれがあります。

- ✓ 宅配便や郵便物がひんぱんに届くようになった
- ✓ 見知らぬ訪問者が次々にやってきている
- ✓ 不自然な工事を繰り返ししているようだ
- ✓ 急に節約を始めた／急に羽振りがよくなった
- ✓ いつもより表情が暗く、考え込んでいる様子がある
- ✓ 業態のよくわからない店や会場にひんぱんに出入りしている
- ✓ 小口・大口の借金を申し出るなど、お金に困っている様子が見られる



少しお金を貸してほしい...

